

別記様式8 [第5項(6)]

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームさちの家
 作成日 2021年 4月 8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	コロナ禍で、外部の研修会への参加が少なかったため、職員のスキルアップを図る機会を確保する必要がある。	街区研修への積極的な参加(リモート研修等)や、内部での研修会の充実を図る。	①感染対策を徹底しながら、外部研修への参加(リモート含む)機会の確保。 ②ニーズに即した事業所内部での研修会の開催。 ③職員の資格取得の促し(認知症実践者・実践リーダー・介護支援専門員、介護福祉士等)	6ヶ月～1年
2	13・33	グループホームでの看取り経験が少なく、知識の習得・ケアの質の向上が必要。	職員全員が看取りについてのしっかりとした知識を持ち・看取り期に入る前からの悔いのない生活を送って頂けるよう、ケアの質の向上を図る。	①看取りについての研修会の実施(事例検討等) ②入居者様一人一人の定期的な意向・(DNR含む)の確認。 ③日々のニーズの確認・よりニーズに沿った支援(生きがい・役割・楽しみ)の実施。	6ヶ月～1年
3	20・51	コロナ禍で、思うように家族や馴染みの人に会えない入居者様や、ご家族様の気持ちを汲み取り、寂しい想いをさせないように、今まで以上に職員が入居者様・ご家族様との関係性を深め、配慮をしていく必要がある。	職員が、入居者様とご家族様の気持ちの懸け橋となるような存在になれることを目指す。	①ご家族様や馴染みの人に会いたがっている入居者様には、電話や手紙を通して連絡を取れるようにする。 ②ご家族様には普段よりも頻繁に連絡を取り、入居者様の最近の様子や状態を細かく伝え、体調の変化や認知症の進行度合いのご理解をいただけるようにする。	6ヶ月～1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。